

西宮市議会議員

たかの しん

政党無所属・33才

- ◆苦楽園小・苦楽園中・関学高・関学大（法）卒業
- ◆元・阪急不動産（株）/ 阪急阪神不動産（株）勤務

f たかの しん t takanostyle i takanostyle
https://takanoshin.jp たかのしん



◆初当選から4年。1期目の取り組みをご報告します！

派手なパフォーマンスや無責任な批判ではなく、一步ずつ、着実に行動を積み重ねてきました。

■平成生まれの若手市議として。西宮市政に新しい波を起こしています！

西宮をずっと住み続けたい街へー そんな使命感を抱いて市政に挑戦した私は、本市の課題や皆様のお困りごとを解消するために、具体的な政策を提案することにこだわってきました。この4年間、本会議での一般質問をはじめとする様々な活動を重ねた結果、一定の実績を残すことができたと考えています。今後も皆様からいただくご意見やご相談へ真摯に向き合うとともに、あらゆる分野の調査・研究に励んでまいります。また、現段階で実現に至っていない政策についても、進捗状況を注視し、必要な指摘・提言を続けていく所存です。

◇たかの しん の主な実績【2019⇒2023】

- プールの不具合が発生した上ヶ原小学校で、水泳授業を中止する教育委員会の方針を改め**校外での代替授業**を実現
- 生活困窮世帯に対する生活・学習支援事業の**対象学年を拡大**（中学3年生のみ→中学1年生～3年生）
- 育成センターの待機児童対策として、**利用児童数推計の精度を向上**（市外保育所や幼稚園出身の児童数を反映）
- キャッシュレス・ハンコレス等の重要性をいち早く提起し、**行政手続オンライン化の進展**に寄与
- 業務効率化や不祥事防止のため、**現金の取扱いが発生する業務を削減**（講師謝金・委員報酬等は大半が口座振込に）
- 地域の福祉を支える民生委員・児童委員の欠員を解消するため、**業務の可視化や広報ツールの制作**を提案し実現
- 脱炭素化の鍵を握る住宅の省エネ化を進めるため、**ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）への補助制度**を導入
- 市営住宅の施設マネジメント**や**住宅セーフティネットの構築**に関する主張を「市営住宅整備・管理計画」に反映
- 日中のみの受付で不都合が生じていた満池谷火葬場の使用申込について、**WEBでの24時間対応**を主張し実施が決定
- 学校の掲示物さえ撤去しようとする、過度な景観規制の温床となっていた「**公共サインデザインマニュアル**」を改訂
- 職員が不正を告発する内部公益通報制度について、調査委員会の構成メンバーから**市幹部を外し第三者のみに変更**
- 公用車の不適正な利用実態と保有台数の多さを指摘し、維持管理費用の圧縮につながる**保有台数の削減**が進行中
- 選挙事務の効率化・費用削減を主張し、**期日前投票の人員配置**や**投票区・ポスター掲示場数の見直し**が実現

■3ヶ月ごとのチラシ発行、毎週のWEB更新。定期的な広報活動を続けてきました。

私は、西宮市議会議員選挙の投票率が30%台という低い水準で推移していることに、強い危機感を抱いています。「政治なんて誰がやっても同じ」「政治家が何をやっているか分からない」といった不信感を払拭するには、政治家自身の発信が欠かせません。また、皆様からのご信託によって送り出していただき、税金から報酬をいただいている私達には、日頃の活動についての説明責任があると考えています。そのため、私は年4回の定例



会ごとに市政報告チラシを発行し、ご自宅へのポスティングや朝の駅前にてお届けしてまいりました。その枚数は4年間で100万枚以上にのぼります。ブログ・SNSを必ず週1回以上更新する等、WEB上での情報発信にも力を入れてきました。選挙の前だけ皆様の前に現れる政治家ではなく、日頃から地道な広報活動を続けることで、信頼を寄せていただける政治家でありたいと強く思っています。

◆3月定例会で今任期最後の一般質問を行いました。

取り組んだ政策の進捗を確認するとともに、西宮市大谷記念美術館について問題提起しました。

■これまで提案した政策の進捗状況

2020年9月定例会において、私は市民の利便性向上、市役所業務の効率化、感染症対策等の観点から行政手続のオンライン化とキャッシュレス化を提言しました。その後、市は「にしのみやスマート申請」を導入し、165件の手続でオンライン化を実現。現金の取り扱いについても、110件の事務で見直しが行われました。これらの進捗は前向きに受け止めていますが、依然として取り組みが進んでいない手続も多く存在しています。こうした状況をふまえ、オンラインを前提とした業務フローの見直しや、全庁統一的な決済システムの構築により、導入を加速するよう要望しました。

2021年3月定例会では、市立保育所の民間移管を主張する中で「公立保育所のあり方」を明示するよう求めました。今定例会において、市は市立幼稚園と保育所を再編・統合し、保育ニーズの需給調整機能を担いながら、地域の拠点施設として運営する考えを示しました。待機児童問題の状況を注視しつつ、必要な提言を続けてまいります。

■西宮市大谷記念美術館の今後

西宮市大谷記念美術館は、市が土地・建物・美術品の寄贈を受けて1972年に開館。本市の文化振興における重要な役割を担ってきました。一方で美術館を運営する公益財団法人の経営状況は厳しく、2020年度には資金繰りの悪化により、市が補助金を例年より2,000万円以上多く投入する事態となりました。文化振興に一定の予算を投じることは必要ですが、公金を支出する以上、健全で持続可能な財政基盤を確立する必要があります。

市は2021年2月に24項目の運営改善策を掲げましたが、2年以上が経過した今でも取り組みの進んでいない施策が見受けられます。これらの実施を急ぐとともに、進捗状況の管理と公開が欠かせません。また、毎年の補助金額には上限を設けるとともに、施設修繕等に要する費用については中長期的な見通しを明示するべきです。将来的にそれらの水準を上回る状況となれば、施設の運営形態等も含めた抜本的な見直しが必要です。今後も経営状況のチェックに取り組んでまいります。

たかのしんの政策、3つの視点。

子育て・教育環境の充実を！

「文教住宅都市」「子育てするなら西宮」のスローガンにふさわしい街へ。次代を担う子どもたちが健やかに育てる環境を実現します。保育所待機児童の解消、子育て世帯の経済的負担の軽減、育成センターの環境改善、保育・教育現場への支援等を全力で進めます！

安心して暮らせる街へ！

歳を重ねても、災害が起きても、ずっと安心して暮らせるように。当たり前を守ることは全ての方にとっての願いです。介護予防事業の多角化、医療環境・救急体制の向上、空家対策・耐震化の促進、住宅セーフティネットの構築等へ重点的に取り組みます！

持続可能な行政運営を！

少子高齢化の進行、公共施設の老朽化等により、財政状況は悪化の一途。課題が山積しているからこそ、徹底的な行政改革が必要です。市役所業務の効率化・オンライン化、必要性の低い事業の廃止、契約・発注業務の見直し、市有財産の整理等を具体的に提案します！

■PROFILE / 鷹野 伸（たかの しん）

【お問い合わせ先】 mail@takanoshin.jp / 070-1524-7109

1990（平成2）年3月生まれ。西宮市立苦楽園小学校・苦楽園中学校・関西学院高等部・関西学院大学法学部卒業。大学在学中「甲東ヌーヴェルヴァーグ・ウインドオーケストラ」を設立（初代代表）、進学塾「関学ゼミナール」講師を務める。2012年、阪急不動産株式会社（現：阪急阪神不動産株式会社）に入社。新築分譲マンション部門にて約6年半勤務。2019年4月の西宮市議会議員選挙にて初当選、現在1期目。建設常任委員長・総務常任副委員長・都市計画審議会委員・議会運営委員を歴任。行政書士試験合格者、宅地建物取引士。

今号もご覧いただき有難うございます。チラシをお読みいただいたご感想や、市政に関するご意見やご相談がございましたら、いつでもお気軽にご連絡くださいませ。

